

新タクソノミの内容

金融庁総務企画局企業開示課

2011年9月2日

新タクソノミの内容(1/2)

1. 次世代EDINETでは、提出書類形式をInline XBRLとした上で、XBRL化の対象項目と対象書類を拡大することとしており、提出者の負担を考慮して、開示書類ごとにタグの種類と範囲を決定する。

XBRL化の範囲: 現行XBRL化されているものについて、対象項目を拡大するもの 17様式、対象項目を拡大しないもの 18様式
 新規にXBRL化するもの 27様式(対象項目への適用 4様式、対象書類への適用 23様式) 計 62様式

2. タグの種類

種類	説明
包括タグ	項目内容を包含するようにテキストブロック要素でタグを定義するもの(文章や表を含むことができる。)
詳細タグ	内容を別々の要素で定義するもの(現行EDINETで定義している財務諸表本表のタグも詳細タグである。)

3. タグの範囲

様式の種類	タグの定義
① 上場企業等の有価証券報告書、四半期報告書等	情報利用者による利用ニーズが高い主要な経営指標等の推移、財務諸表本表、セグメント情報、監査報告書について詳細タグを定義する。残りは原則として包括タグを定義する。
② 投資信託・投資法人に係る有価証券報告書等	情報利用者による利用ニーズが上場企業等の有価証券報告書等に比べて低いことから、すべての項目について包括タグを定義する。
③ 大量保有報告書	情報利用者による利用ニーズが高いことから、原則として詳細タグを定義することとするが、情報利用者のニーズが他の項目より低い【当該株券等の発行者の最近60日間の取得又は処分の状況】、【借入金の内訳】、【借入先の名称等】については包括タグを定義する。
④ 公開買付届出書・公開買付報告書	情報利用者のニーズが高い【買付け等を行った後における株券等所有割合】のみ詳細タグを定義する。
⑤ その他	情報利用者による利用ニーズが大量保有報告書等に比べて低いことから、すべての項目について包括タグを定義する。

新タクソノミの内容(2/2)

□ 次世代EDINETにおけるXBRL化の範囲は、以下のとおりとする。

府令	書類種別	内外	対象種別	詳細化範囲(*)
企業内容等	届出書、有報、四半報、半報 (現行を拡大11、新規(対象項目)2)	内国	会社	<u>日本基準の財務諸表本表</u> 主要な経営指標等の推移 セグメント情報 監査報告書 等
	届出書、有報、四半報、半報 (現行を拡大せず6)	外国	会社	<u>日本基準の財務諸表本表</u>
	臨時報告書、発行登録書等 (新規(対象書類)7)	内国	会社	なし
特定有価証券	届出書、有報、半報 (現行を拡大6、新規(対象項目)2)	内国	投資信託受益証券、 投資法人	<u>日本基準の財務諸表本表</u>
	届出書、有報、半報 (現行を拡大せず12)	内国	特定目的会社、 匿名組合等	<u>日本基準の財務諸表本表</u>
	臨時報告書、発行登録書等 (新規(対象書類)4)	内国	投資法人等	なし
公開買付	届出書、報告書 (新規(対象書類)8)	内外	会社、個人	買付け等を行った後における 株券等所有割合
大量保有	報告書(新規(対象書類)3)	内外	会社、個人	一部を除きすべて詳細化(前 ページ3.の③参照)
内部統制	報告書(新規(対象書類)1)	内国	会社	なし
(合計)	(現行を拡大17、現行を拡大せず18、新規27 計62)			

(*) 詳細化範囲欄において、下線が付されている箇所は、現行EDINETで既に詳細化されている。